



豊春中だより

学校教育目標

～夢と笑顔と歌声あふれる学校～
心の豊かな生徒 進んで学ぶ生徒

〒344-0048 春日部市南中曽根 107番地2 TEL048(752)2717 FAX048(763)96

「見方・考え方」を変えてみる

校長 永野 修

雨に映る紫陽花が美しく爽やかな季節を迎えようとしています。今週末に迫った体育祭に向けて、各学年・学級の練習にも一層熱が入ってきました。今年度の体育祭は人数の制限こそありますが、保護者の皆様に生徒の躍動する姿をご覧いただきます。感染対策にご協力のうえ、是非ご来校ください。お待ちしております。学校では引き続き、健康観察、マスクの着用、こまめな手洗い、消毒の励行、教室等の換気等、感染防止対策の徹底を図ってまいりますのでお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



さて、先月の校長講話で「見方・考え方」を変えてみることの大切さについての話をしました。右上の「ルビンの壺(つぼ)」というだまし絵を提示し、物事や人間関係の中で、見方や考え方を変えることの大切さを生徒とともに考えました。人は第一印象や人のうわさなどの先入観に縛られて思い込みをしていることが多いものです。人間が生きていくうえでは、辛い出来事に遭遇することや人間関係の悩みはつきものです。自分の周囲には気の合う人もいれば、そうでない人もいます。物事を違う角度から見てみることで新たな発見をすることありますし、ピンチがチャンスになることもあります。人の欠点や短所も見方を変えると、良さや長所になることもあります。例えば、頑固である(⇒自分の考えを持っている)、飽きっぽい(⇒好奇心が強い)、うるさい(⇒元気がある)、引っ込み思案(⇒謙虚である)といった具合です。今の時期は、新しい人間関係の中で疲れを感じたり、悩みやトラブルが起きやすい時期でもあります。一部の固定した仲間生活している生徒や流動的な生徒、集団に入りきれなくて悩んでいる生徒もでてきます。人間関係がマンネリ化して、広い気持ちで他者を受け入れない態度や言動が目立ってくる頃かもしれません。

学校では、こうした時期にこそ、体育祭等の行事や日々の授業を通して生徒の人間関係の改善や望ましい人間関係の促進を図っていきたくと考えています。何かご心配がございましたら遠慮なく担任等にご相談くださいますようお願いいたします。

本校では、子どもたちが安心・安全で健やかに成長できる学校づくりを推進しております。引き続き、ご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。